

展示会を終えて

附属図書館では、平成13年6月1日から6月30日までの期間、京都大学総合博物館において同総合博物館開館記念協賛企画展「近世の京都図と世界図―大塚京都図コレクションと宮崎市定氏旧蔵地図―」として恒例の展示会を開催しました。

今回展示した資料は、平成12年度に附属図書館が寄贈を受けた、大塚京都図コレクションと宮崎市定氏旧蔵地図の中から、あわせて80余点を展示しました。

大塚京都図コレクションは、近世における刊行京都図の唯一の体系的なコレクションであり、単に市街の変化を伝えるにとどまらない。市街のみを表した地図から洛外を広く含む地図へと変化しつつ、刊行地図として正確を強め、さらに墨刷りから手彩色を経て色刷りへ、また木版から銅版へと、技術的に展開する地図出版の様相をも如実に示しています。このコレクションによって、近世都市図の世界を涉猟して地図出版の展開をたどり、また居ながらにして近世京都の各時期の市街と洛外の名所に遊ぶことができます。

一方、宮崎市定氏旧蔵地図は、主としてヨーロッパで刊行された地図からなり、しだいに精度を増す世界図によって、ヨーロッパにおける地理的知識の増大と世界観の変化をたどることができます。

展示会期間中は、連日盛況で入館者数は六千百人を越えており、展示室では日頃あまり目にすることのできない資料に、入館者は熱心に見入っていました。

また、この間、6月12日には、本学文学研究科金田教授による記念講演「近世京都図の特性」が開催され、一般市民ならびに教職員・学生等で会場は満席、補助席を用意するほどの盛会な講演会となりました。

今回の展示会は、例年実施してきた附属図書館の展示室ではなく、総合博物館の展示室で開催しました。総合博物館のご厚意とご協力により、今回の展示会を開催することができましたことを、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。また、文学研究科の金田教授、杉山教授、吉川助教授、総合博物館の山村助手、並びに、礪波本学名誉教授、應地本学名誉教授の皆様にはひとかたならぬご指導、ご援助をいただき厚くお礼申し上げます。

今後も、附属図書館では京都大学が所蔵する貴重な資料をできるだけ多くの方々に観ていただく展示会を引き続き開催していきたいと考えています。

